

平成20年度に策定した公共交通空白地域改善計画では、コミュニティバス（乗合タクシーを含む）の再編・新規導入等において、具体的な路線等の検討に地域の意向を反映させるため、地域別の検討組織を設置して検討を進めることとしている。

1. 住民参加により期待される効果

- 住民が「**コミュニティバスの計画づくりに参加する**」ことにより導入前に、**意見や要望を発言する場を提供することができる**。
ルート設定上の問題や採算性など、**実現に対する課題**を共有できる。
- 住民自らが計画に参加したコミュニティバスの運行によりコミュニティバスに対する意識が高まり、運行後の利用促進への積極的な取組が期待できる。

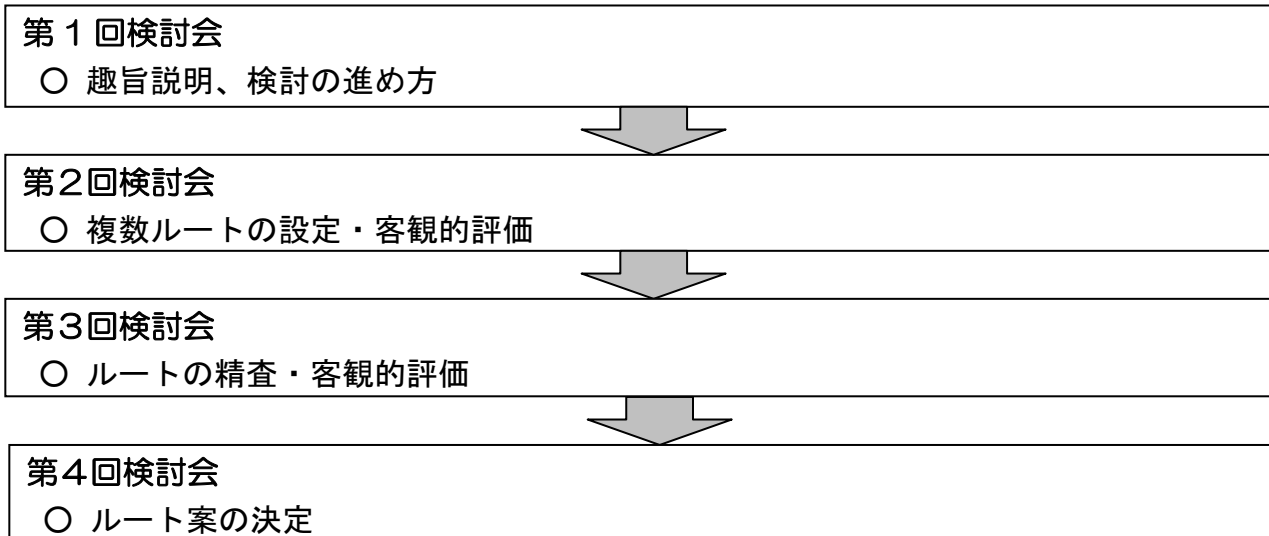
2. 主な検討内容

- 運行計画
 - ・ 運行ルートの道路幅員や交通規制等の状況を踏まえ、運行可能なルートを複数設定し、客観的な指標により評価する。
 - ・ サービス水準の検討（時間帯、本数等）
- バス停配置

3. 発足する地域別検討・運営組織

- 対象 : 沿線居住地域の居住者を対象とする。
(その他沿線地域には、必要に応じて協議の場参加を声がけ)
- 構成員 : 検討路線沿線住民を対象
沿線自治会・町会の代表及び公募市民により構成
- 規模 : 円滑な会議運営や意見交換の場を目指し、10~20名程度を想定

4. 検討の流れ（南大泉における想定検討例）



※ 検討組織での検討結果をバス懇談会、バス推進会議で調整後、練馬区地域公共交通会議に提言する。

5. 本年度の検討予定地域

（1）南大泉地域

- ・ 検討内容：コミュニティバス路線の新規導入
- ・ 対象地域：南大泉1～4丁目・東大泉7丁目周辺

居住者のニーズの高い保谷駅と当該地域を結ぶ新規コミュニティバス路線導入により改善を図る。

以下、南大泉地域の検討進捗状況により順次検討開始予定

（2）関町ルートの再編

現在、運行経費から運賃収入を差引いた負担割合が高いため、利用の少ない区間の再考や、周辺の公共交通空白地域を経由した運行ルートへの変更について検討する。

（3）氷川台ルートの再編

運行ルート等の見直しを図るとともに、バス事業者による運行が不可能な場合に乗合タクシーの導入を検討する。

※次項に検討対象予定地域・ルートを示す。

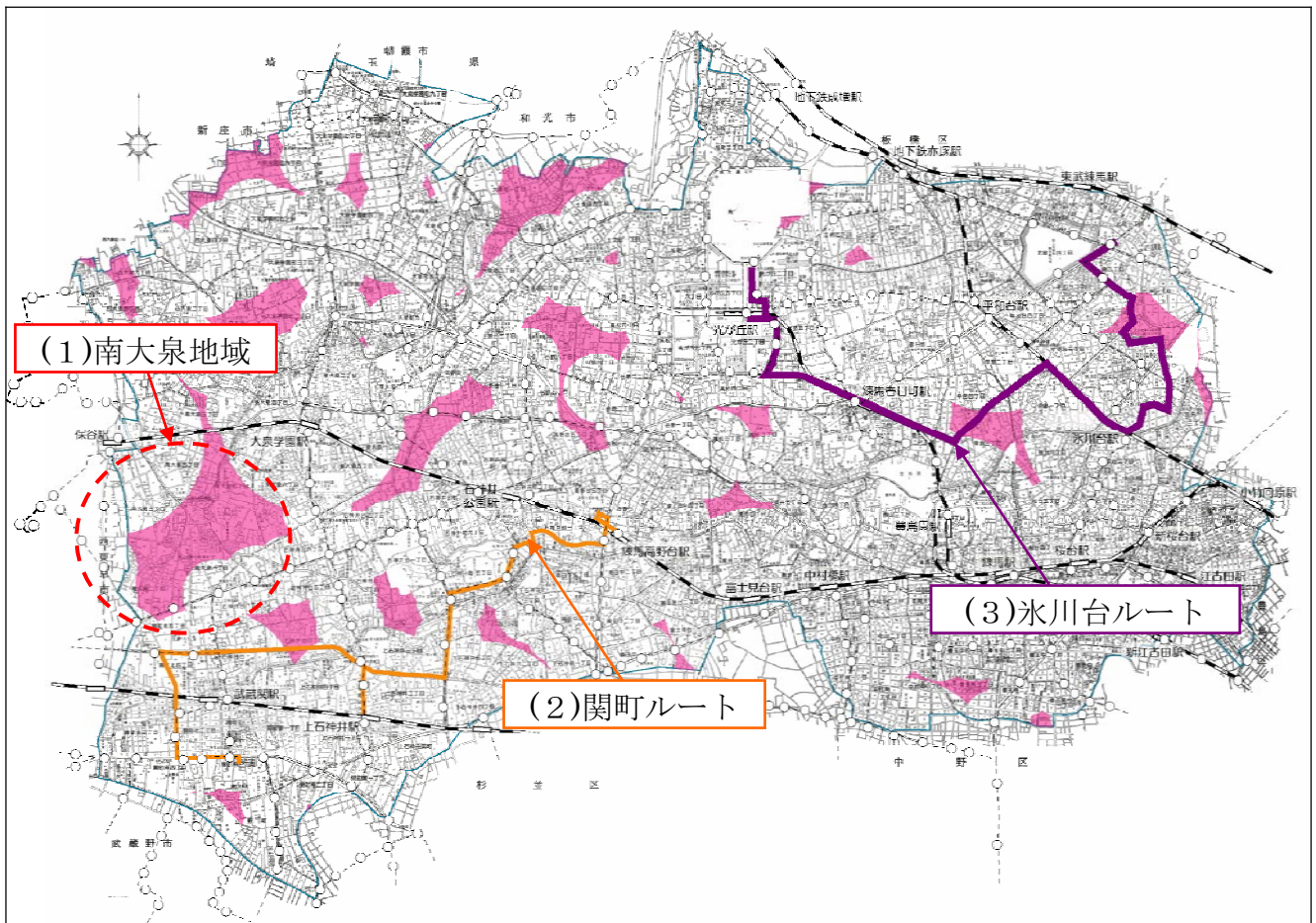


図 今年度の検討予定地域・ルート

6. 本年度のスケジュール

- | | |
|---------|---------------------------|
| 平成21年5月 | 第1回練馬区地域公共交通会議 |
| 6月 | 南大泉地域検討会の設置（以降月1回程度開催） |
| 秋頃 | 第2回練馬区地域公共交通会議（南大泉ルートの協議） |